

# 札幌市(北海道)の一体的実施 平成23年11月1日事業開始

区役所において、ハローワークによる職業相談・職業紹介と、市の実施するキャリア・カウンセリング、各種支援制度に関する情報提供等を一体的・総合的に実施。

札幌市

キャリア・カウンセリング、  
各種支援制度の情報提供等

## ① 事業内容

- ・キャリア・カウンセリングによる就労支援
- ・札幌市の独自の求人情報等の提供
- ・札幌市の各種支援制度に関する情報提供及び連絡・調整等
- ・求職者に対する職業紹介・職業相談

## ② 協定・事業計画

- ・札幌市長と北海道労働局長の間で協定(\*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を札幌市と北海道労働局の間で策定

\* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

## ③ 運営協議会

- ・札幌市職員、北海道労働局職員をメンバーとする運営協議会を設置。  
(札幌市経済局長が会長)



国

職業紹介・職業相談の実施等

札幌市の区役所内の職業相談コーナー等を拡充して、ハローワークの職業紹介業務を一体的に実施することにより、身近な区役所できめ細やかな就労支援を実現。

## (1) 実施体制

### 札幌市

- ・職業相談員2名を配置

### 国

- ・職業相談員2名を配置(厚別・手稲は3名)
- ・求人情報提供端末5台、職業紹介端末2台を配置(厚別・手稲は3台)

## (2) 事業目標と取組状況

	24年度事業目標	取組状況(平成24年9月末時点)
白石区	利用者数 9,000人 就職者数 400人	利用者数 7,522人 就職者数 201人
	(参考)23年度目標(23年11月～24年3月) 利用者数 3,400人 就職者数 130人	(参考)23年度実績(23年11月～24年3月) 利用者数 4,864人 就職者数 84人
豊平区	利用者数 9,000人 就職者数 300人	利用者数 4,917人 就職者数 135人
	(参考)23年度目標(23年11月～24年3月) 利用者数 3,400人 就職者数 90人	(参考)23年度実績(23年11月～24年3月) 利用者数 3,280人 就職者数 92人
厚別区	利用者数 14,000人 就職者数 500人	利用者数 13,873人 就職者数 448人
手稲区	利用者数 17,000人 就職者数 500人	利用者数 12,568人 就職者数 407人

※ 平成23年度から白石区と豊平区に「あいワーク」開設、一体的実施事業として事業目標を設定して実施。  
平成24年度から新たに厚別区と手稲区に「あいワーク」を開設(平成24年4月1日)。

# 一体的実施事業による就職成功例

男性：62歳

希望職種：ビル管理・土木作業⇒介護職（訓練終了後に変更）

※これまで設計士、通信土木作業員、建築土木作業員を経験

## ① 訪問の動機

- 平成22年10月に離職、ハローワーク札幌東にて求職活動を開始。平成23年8月から11月まで職業訓練を受講して、ホームヘルパー2級の資格を取得。自宅に近いことから「あいワーク豊平」を利用して介護職への就職を目指すこととなった。

## ② 抱える課題

- ホームヘルパー2級の資格を取得したが、介護職の実務経験がない。（求人は経験者希望が多い）
- 就職活動に不慣れなため、希望にあった求人を選択することが困難。
- 60歳定年が制約となり、なかなか希望の求人に応募できない。

## ③ 支援内容・ポイント・経過

- 実務経験がないことから「中高年トライアル求人（正社員）」への応募を勧奨、了解を得る。
- 該当する求人の検索を行い、情報を提供しながら一緒に応募先の絞り込みを実施。
- 強く応募を希望した求人は「定年制60歳」となっていたが、「意欲のある方なのでぜひ応募させて欲しい」と求人者に交渉した結果、応募・面接に至る。

## ④ 結果

- 介護職員として正社員での就職が決定。** ※支援期間2週間

## ⑤ ハローワーク担当者の所感

- 前向きで、希望職種・条件が自分の中できちんと決まっていた方だったので、面接にこぎつければ採用は確実とと思っていました。まずはトライアル雇用で足懸りをとっていましたが、意欲が採用先にも伝わったのか、当初から正社員として採用。  
定年年齢を超えていても、粘り強い交渉が実を結びました。

# 一体的実施事業による就職成功例

男性：52歳 希望職種：不問（年齢が高く、ビル管理や清掃関係の仕事を主に探している）

## ① 訪問の動機

- 生活保護受給窓口のある白石区役所内に平成23年11月より「あいワーク白石」が開設されたことをきっかけに、同月よりあいワークを利用するようになった。  
職種にこだわらず年齢的に可能性のある求人にチャレンジすることとなった。

## ② 抱える課題

- 建設関係の仕事（測量・建設作業員）を20年以上経験しており、冬期は雇用保険を受給していた。
- 新聞配達と集金で働いていたが、身分がアルバイトに切り替えられ、やむを得ず離職した。
- 長期失業が続いたため生活保護を受給している。

## ③ 支援内容・ポイント・経過

- 年齢で該当する求人に応募を繰り返すも経験がなく不調が続いたため、「中高年トライアル求人（正社員）」への応募を勧奨、了解を得る。
- ビル管理人、駐車場管理人、清掃員等を中心に積極的にマッチングを行い、「交通誘導・イベントの警備員（併用求人）」で「試行雇用（トライアル雇用）奨励金」を活用した職業紹介に至った。

## ④ 結果

- 警備員として中高年トライアル雇用が開始された。 ※支援期間4.5ヶ月

## ⑤ ハローワーク担当者の所感

- 求人への応募の不調が続いたが、担当者のアドバイス等により就職意欲が衰えることなく、むしろ、就職への意欲がだんだん高まり毎週来所するなど非常に熱心であった。  
その意欲が求人者に伝わり、紹介面接から2日後の早期就職につながったと感じています。  
トライアル雇用も背中を押してくれました。